学位被授与者氏名	張　志莉
論文題目	中国内江市における高齢者デイサービスの必要性に関する研究 ―認知症における日中融合手法の模索―
論文審査結果の要旨	当該院生は、当初は日本の認知症介護について、実践的研究を行うことを計画していた。しかし、2020 年 2 月の初めに所用から中国へ帰国したものの、その後の新型コロナ（COVID-19）の感染拡大の影響から日本へ戻ることができなくなり、2020 年 10 月まで約 9 ヶ月間中国に滞在することとなった。そのような中で、急遽、研究計画を変更して、中国の認知症介護が抱える問題点を考えるテーマに取り組んできた。限られた資料、情報の中、またコロナ禍もあり思うように介護現場の調査ができず、結果的に内江市内の調査が不十分であったり、認知症高齢者に対するヒアリング内容が不十分だったりする点は否めない。しかし、多くの制約条件下にもかかわらず、中国における認知症介護の現状と課題の一端を明らかにすることはできた点は評価に値する。 2021 年 2 月 19 日にオンライン開催方式で、審査委員全員出席のもとで最終試験を実施して学力を確認し、論文の説明を受け、質疑応答ののちに、全員一致で当該論文が修士（人間関係学）として十分な内容であると判定した。